進路室から～鍛えよう若き日を～　No. 3

2020. 7. 27

第２号で学習時間のことを書きました。その中で「東大の合格者は３年間で 4000 時間の学習時間」といいましたが、「何だ、その程度でいいのなら俺でも合格できる。もっと言えば他の大学ならもっと少なくてもいいのか」と勘違いしてもらうと困るなということで、今回は学習の質の話です。学習にある程度の時間は必要です。そこで「平日２時間、休日４時間」これだけは勉強してねという時間が出てきたわけでこれ以上することが望ましいわけです。しかし、やればやるほどできるかいうと、そこで問題になってくるのが学習の質です。これは学習だけでなく、部活動や趣味などのことにもいえることですよね。例えば東大に入りたい人は目標が明確です。全国で 3000 人以内に入れば入学定員に入ることになります。そのためにはどれだけ学習すれば入れるかだけでなく何をやればいいかも明確になっています。したがって、短い時間でも質の高い学習ができるわけです。他の大学の場合、第１志望といっても「必ず入るんだ」という人から「入れればいいなあ」という人まで様々だと思います。「入れればいいな」という人は「無理なら他にしようかな」という気持ちが出てこないとも限りません。そうした状態ではなかなか質の高い学習は望めません。高い質を求めるためには強い志望とそれに向かって突き進む強固な意志が大切となります。今１年生は２学期の教科選択にあたり、大学の学部・学科研究をしていると思います。その中で自分の未来（夢）の実現のため高い志望を持つことが大切なことだと考えます。２年生は夏休みのオープンキャンパス（今年はウェブが多い）で自分が４年間学ぶにふさわしい場所を見つけていってほしいと思います。３年生は第１志望の合格に向けて努力するのみ。「言い訳をしているうちは伸びません」

さて、静岡新聞に載っていましたが、静岡銀行が 27 年ぶりに高卒採用を再開しました。初年度は静岡県内の高校生を対象に５名程度の採用となります。（ただし、採用方法は大卒と同じで公募ですので他の高卒求人と違い高倍率になる見込みです）採用条件は大学で学びながら働くということです。つまり、昼は銀行で働き、夕方から静岡大学人文学部夜間主コース（法学科・経済学科）で学ぶことになります。したがって、勤務地は静岡市内になりますので掛川からでは通勤・通学が難しいことから寮（マンションの１室）に入っての生活となります。４年間の学費はすべて静岡銀行が負担します。さらに４年間は給料が出ます（16 万程度）。卒業後は大卒と同じ給料表になります。寮費は月 8000 円、朝食 200 円、夕食 500 円は自己負担です。採用１期生は大切に育ててくれると思います。将来静岡大学への進学や静岡銀行への就職を考えている人は検討してもいいのではないでしょうか。就職採用試験は９月 15 日以降、採用内定者は静岡大学の入学試験を受験していくことになります。詳しいことを知りたい人は進路課（大場）まで

最後になりましたが、もうひとつ、共通テストのことです。文部科学省・国大協・国公立大学から試験日程の発表がありました。別紙のとおりです。日程のことを考えれば、第１日程が望ましいということになります。まずは、本番で最高の結果が出せるよう準備していくことが大切です。学校の指導を信じて集中して質の高い学習をしていってください。